

設楽の城砦めぐり  
じょうさい  
湯谷城編



湯谷城址全景を望む

城址は、西納庫字城根山の寺屋敷川左岸の急斜面上に位置する要害の地にある。

現在ゴルフ場と車道により一部滅失しているが、実測図から城の全容を推測すると、東西約一五〇メートル、南北約九〇メートルの規模で築かれている。

中心部の本曲輪約八〇〇平方メートルは、地区の墓地となつてほぼ原形をとどめ、北西側に約九〇メートルの見応えのある堀と土塁によつて防御される。

南側は一段下の南曲輪から急斜面が川まで続く、東側は現在駐車場の腰曲輪、そこから二段の東曲輪が築かれ急斜面に続く、東曲輪の北側は自然の堀を巧みに利用した構えとなる。

城の歴史は明らかではないが、遺構をめぐれば往時を偲ぶには十分である。

(愛知県文化財保護指導委員)

加藤 博俊